

とみや議会だより

第22号



複合施設整備事業	P 3
第 4 回定例会	P 4
一般質問	P 7
委員会活動	P15

▲雪化粧の鷹乃杜二丁目公園

2022年(令和4年) 2月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編 集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい市議会だよりを目指して～

UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザインフォント
を使用しています。

あけまして
おめでとうございます
本年もよろしく願い申し上げます



写真撮影時のみマスクを外しています

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、令和4年の新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、本市議会及び市政に対し格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年は、新たな観光拠点として整備されました「富谷宿観光交流ステーション」(愛称：とみやど)が開所し、しんまち地区に賑わいや活気が蘇ってくる等、本市の新たな魅力が発信・周知された年となりました。

一方で、一昨年から猛威をふるっている「新型コロナウイルス」により、県独自の緊急事態宣言が発出され、社会経済活動に大きな影響を及ぼす等、皆さまには大変なご苦労があったことと思います。このような中、感染対策をはじめとする新しい生活様式に積極的に取り組んでいただき、お一人おひとりが努力していただきましたことに感謝申し上げます。

引き続き、皆さまと一緒にこの難局を乗り越え、「住みこころの良し」この富谷市での皆さまの生活を守っていきたくないと考えております。

本年は、東北初となります新たな学びの場、不登校特例校 富谷中学校 西成田教室が4月に開設されるほか、新たな事業が進められております。議会としましては、「暮らしやすい市」と感じていただけるよう、市民の皆さまの負託に応え、その職責を果たして参る所存でありますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。結びに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

富谷市議会 議長

青柳信義

市民図書館等複合施設整備事業

市民図書館、スイーツステーション、児童屋内遊戯施設の3施設それぞれの整備を進める中で、単独で整備した場合と比べ、各施設の充実などが見込まれることから、複合施設として整備することになりました。

施設概要 (写真はイメージです)

富谷市民図書館	富谷スイーツステーション	富谷児童屋内遊戯施設
		
一般書、児童書、書庫など	カフェ、スイーツ工房、ショップ	複合遊具室、乳幼児コーナー、親子サロン など
延床面積：1,780㎡	延床面積：240㎡	延床面積：880㎡
来場者予測：138,000人/年	来場者予測：206,000人/年	来場者予測：288,000人/年
整備予定地：成田公民館敷地内（既存施設東側）		
施設整備費：約18億円 複合化することによって、それぞれ整備するより1億4,000万円削減		
供用開始：令和7年度を目指しています		

【富谷市民図書館等に関する調査報告書】

富谷市議会は、富谷市民図書館等に関する調査特別委員会を設置し、整備計画内容や、全体スケジュール等について把握するとともに、よりよい施設整備に向け調査を行いました。

調査結果

各施設の類似性の高い機能の集約、共用化することによって生まれる相乗効果・コスト削減等によって、各施設単独で整備した場合と比べて、複合施設により諸課題の解決につながる可能性が確認できました。また、本調査特別委員会として、より良い複合施設とするため、委員会の総意として要望事項を取りまとめました。

要望事項

- ①図書館・スイーツステーション・屋内遊戯施設の整備内容について、住民ニーズを踏まえた施設とすること。
- ②長期的な視点に立ち、より経済性のある施設運営を図ること。
- ③交通渋滞や騒音等、近隣住民への影響が生じないように配慮すること。
- ④複合施設整備の早期竣工と整備スケジュールの遵守。
(図書館については従来計画から大きく遅れている。できる限り早期の竣工を図ること。)

令和3年第4回定例会 一般会計補正予算

令和3年度第4回定例会は、11月30日から12月10日までの11日間の会期で開かれました。

令和3年度一般会計補正予算は、9億553万円を追加し、歳入歳出の予算総額を175億4656万円とするものです。

歳出の主なものは、新型コロナウイルスワフチンの3回目接種体制確保、また、それに伴う令和4年度の医療機関への接種費用、政府の「18歳以下への10万円相当給付」子育て世帯への臨時特別給付金給付事業などです。

そのほか、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算など、全件原案のとおり可決しました。

コロナワフチン接種

問 3回目の接種券の配付時期は。

答 対象者は、2回目接種が完了してから8カ月経過した方です。8カ月経過に間に合うように接種券をお送りします。

問 今後の集団接種、個別接種の体制は。

答 基本的に個別接種を中心にを行います。2月から始まる5歳〜11歳の方に対するワクチン接種の体制の確保も踏まえながら、集団接種の有無や規模は、今後検討します。

問 3回目の接種の完了予定は。

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定業務

問 プラン作成の背景は。

答 市制移行5年が過ぎて、現況の調査と新たな土地利用、施設、図書館、

問 国の計画による、令和4年9月30日を目指します。

問 他の自治体で2回接種後、富谷市に転入してきた方への、3回目の接種券の送付は。

答 転入された方については、富谷市に接種券の交付を申し出ていただき、その上で送付します。



問 病院誘致、第7回で整備する住宅系、工業系の各種施策の検討を行い、都市機能の適正化を進め、都市計画を今後定めます。

問 昨年、まちづくりアンケートを行いました。地域に当たり、地元の要望や、必要性などを聞く予定は。

問 庁内各部署間の連携は。

答 アンケートは今回も活用し、全体の構想、地区ごとの検証を図り、適正なまちづくりに資するよう定めたいと考えています。

問 プランの目標年度は。

答 県作成の都市マスタープラン、本市総合計画と併せ10年後と20年後で考えています。

原油価格高騰緊急対策

問 1世帯あたりの助成額を6000円とした根拠は。

答 1世帯あたり18ℓを一冬10缶購入することを想定しました。

問 資源エネルギー庁の石油価格調査推移データを参考に、灯油の店頭18ℓ

現金価格を比較したところ、令和2年11月16日が1302円、令和3年11月15日が1846円で、差額544円でした。

問 10缶購入すると5440円ということから、6000円と設定しました。

問 助成券の申請受付期間と使用期限は。

答 申請期間は令和4年1月5日から2月21日まで、使用期限は令和4年3月31日までの予定です。

問 使用できる販売店は。

答 市内に13カ所ある燃料取扱店を想定しています。

問 助成券ではなく、現金での支給は。

答 地域経済の振興を考慮し、地元の販売店で購入いただけるよう助成券での支給としました。

問 生活に灯油を使っている世帯への助成について考えは。

答 原油価格高騰の影響を受けている生活困窮世帯への助成が狙いであり、灯油を使わない世帯は原油価格高騰の影響を受けていないものと考えています。

富谷宿観光交流ステーション指定管理者指定管理業務

問 観光交流ステーション運営では、本業務以外にも必要な業務があると思いますが、予算は。

答 指定管理業務に付随する駐車場の剪定、伐採などは、予算を分けて対応します。

問 観光拠点としての役割、地場産品の発信など、重点的に行う必要があるのでは。

答 特産品を活用した新たな商品、新たな観光コンテンツなど、民間の力で開発、発信することを検討しています。

問 集客が大きな課題では。

答 現在、イベント等により、集客に努めています。トライ・アンド・エラーを繰り返し、その蓄積を今後活かすことが重要と思っています。

問 4年度の営業時間は。現在、コロナ禍で時短営業をしています。社会情勢からの判断となりますが、4年度から通常営業ができるよう準備を進めています。

●●● **主なつかいみち (債務負担行為も含む)** ●●●

○子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 **5億2,694万円**

政府の子育て支援対策「18歳以下への10万円相当給付」に関して、先行して現金5万円を給付。
※後日、専決処分により、現金10万円の一括給付となりました。

○新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 **1億 64万円**

令和4年度の医療機関への接種費用等について債務負担行為を設定。

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 **4,129万円**

新型コロナウイルスの3回目となるワクチン接種に向けた準備経費の計上に加え、令和4年度実施分の接種費用について債務負担行為を設定。

○都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定業務 **3,000万円**

本市の都市計画の基本的な方針等を定めるとともに、立地適正化計画の策定に着手するため債務負担行為を設定。

○原油価格高騰緊急対策事業 **2,135万円**

原油価格の高騰により家計に大きな影響を受ける市民税非課税世帯等に対して、市の独自支援策として1世帯当たり6,000円(助成券)の灯油等購入費を助成。

○富谷宿観光交流ステーション運営事業 **1,720万円**

指定管理者制度による運営を行うための債務負担行為を設定。

○不登校特例校整備事業 **922万円**

令和4年4月の開設に向け、教材備品等や保護者送迎用の駐車場を整備。

令和3年第2回臨時会

米生産者・一反歩当たり、1万円の支援金

令和3年第2回臨時会が、10月29日に開かれました。

臨時会では、新型コロナウイルス感染症感染拡大に係る農業継続支援事業増額と、町内会館整備事業として、とちの木会館の増築等の改修費用に2407万円の計上などを審議し原案のとおり可決しました。

農業継続支援事業

問 飯米のみの農家は対象になりますか。

答 今回は収入減に対しての支援であり飯米だけではあれば対象にはなりません。

問 市内の方が市外に作付けしている場合は。

答 市外で作付けしている土地も支援対象に含まれます。市外の方が富谷に作付けした場合は、支援対象にはなりません。

問 県のコロナ対策に対する補助金は。

答 今回は1200万円で、累計で約5000万円です。

問 対象農家は何人ですか。
答 220人程度と見込んでいます。



●●● **主なつかいみち** ●●●

○農業継続支援事業 **3,000万円**

○町内会館整備事業 **2,407万円**

第2回臨時会(10/29)・第4回定例会(11/30~12/10) 議案採決結果一覧

議案	賛成	反対	議決結果	佐藤	菊池	村上	塩田	渡邊	藤原	畑山	金子	浅野	若生	長谷川	高橋	菅原	出川	安住	渡邊	浅野	青柳	提案者	
				浩崇	美穂	治	智明	清美	峻	和晴	透	武志	英俊	る美	正俊	福治	博一	稔幸	俊一	直子	信義		
第2回臨時会	令和3年度富谷市一般会計補正予算(第8号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市長提案
	米の需給調整および米価下落・稲作経営農家支援対策に関する緊急要請	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回定例会	富谷市立学校県費負担教職員のサービスの宣誓に関する条例の制定について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市 長 提 案
	富谷市国民健康保険税条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	富谷市国民健康保険条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	富谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	西成田コミュニティセンター子育てサロン条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	富谷市企業立地促進条例の一部改正について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度富谷市一般会計補正予算(第9号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和3年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	富谷市道路線の認定について	17	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	和解及び損害賠償額の決定について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	和解及び損害賠償額の決定について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	黒川地域行政事務組合理約の変更について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	黒川地域行政事務組合の財産処分について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和3年度富谷市一般会計補正予算(第10号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和3~5年度(仮称)やすらぎパークとみや整備工事請負契約の締結について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
令和3年度富谷市一般会計補正予算(第11号)	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

○賛成 ×反対
 ※議長(青柳信義)は採決に加わりません。

議案審査

一般質問

委員会活動

市政を問う

一般質問

第4回定例会では13人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を8ページから14ページまで発言順に掲載しています。

文章については、議員自ら作成していますので、原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

8P 菅原 福治 議員

- 4病院の再編は、富谷黒川地域のまちづくりと、県内医療の全体最適がポイント
- 「とみやど」を拠点とした観光振興について問う

8P 菊池 美穂 議員

- 介護に関わる家族への支援を
- 持続可能な富谷市であるための「職員力」、「組織力」を問う

9P 渡邊 俊一 議員

- 地下鉄延伸(鉄道延伸)について問う

9P 出川 博一 議員

- 図書館を含む複合施設整備について
- 大亀山森林公園の利活用を問う

10P 長谷川 る美 議員

- 側溝整備事業と市道の舗装修繕工事について
- 放課後児童クラブについて

10P 佐藤 浩崇 議員

- 市民の健康維持に向けた口腔ケアの取り組みについて

11P 浅野 直子 議員

- 令和4年度に向けた福祉関連政策の推進について
- 歩行者を守る交通対策について

11P 村上 治 議員

- 市内各団地の道路整備等について

12P 若生 英俊 議員

- 富谷市シルバー人材センターへの活動支援について
- 富谷市民図書館等に関する調査報告書の要望事項について

12P 渡邊 清美 議員

- 公園の活用と遊具の安全対策を問う
- 小中学生のタブレット、インターネット利用を問う

13P 高橋 正俊 議員

- 今後の経済対策はどうするのか

13P 藤原 峻 議員

- 金管バンドの支援策強化を
- 公共空間の利活用策は

14P 安住 稔幸 議員

- 防災対策について
- 複合施設および成田公民館について
- 地下鉄延伸等の基幹公共交通の整備について

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 総合病院の設置は市民の熱い思い

答 しっかりと期待に応えます

10月に行われた宮城県知事選挙において、本市に新病院を新設することを公約に掲げた村井知事が五選を果たしました。

問 仙台医療圏、4病院再編の市のスタンスは。

答 本市には、急性期を担う病院がなく県の方針に賛同し、積極的に誘致に取り組みます。

問 市民の期待の受け止めと、病院予定地の確保等、支援内容を問う。

答 救急を担う病院の新設と、用地の確保、財政



▲ 東北労災病院

問 なぜ、「とみやど」に地域商社なのか、必要性と活動内容は。

答 賑わいには、①民間

問 「とみやど」への、市民の反応は。

答 ここまでしんまち地区が復活するとは思いませんでした。しかし、物足りないという意見もあり、今後は観光、文化の掘り起こしに努めます。

問 なぜ、「とみやど」に地域商社なのか、必要性と活動内容は。

答 賑わいには、①民間

問 新型コロナウイルス感染症に対する新病院の体制は。

答 高度な医療機関であり、相当程度の治療ができるものと考えます。

問 本市への設置が、全体最適に繋がりますか。

答 2拠点にする事が県全体の充実に繋がります。

問 リピーターに繋がる「とみやど」に

答 観光拠点を増やし充実に努めます

問 「とみやど」への、市民の反応は。

答 ここまでしんまち地区が復活するとは思いませんでした。しかし、物足りないという意見もあり、今後は観光、文化の掘り起こしに努めます。

問 なぜ、「とみやど」に地域商社なのか、必要性と活動内容は。

答 賑わいには、①民間

問 内ヶ崎家本陣等、文化施設の紹介と、「とみやど」の拡張を図っては。

答 歴史、文化の掘り起こしと、拡張については前向きに受け止めます。

問 介護に携わる家族への支援の拡充を

答 現金給付ではなく現物給付を実施

家族介護の難しさは計り知れないものであり、家族であればなおさら、要介護者の生活を介助することで介護者本人の生活を破綻させかねません。

問 「高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生涯を過ごせるまちづくり」を実現させるためには、さらなる福祉支援拡充が必要と考え、質問します。

問 「家族介護慰労金」の県内市町村の実績と、本市での必要性は。

答 県内34市町村のうち、

問 必要ならすぐに入所できるようなっているのか、特別養護老人ホームの待機状況は。高齢化の進展に対する将来的な需給バランス、介護施設の新設の必要性について。

答 待機人数は、平成29年度は63人、令和2年度では48人まで減少しています。また新たに、9期計画を策定する際に、新しい施設をつくるかどうかどう

問 副市長2人制について、見解は

答 検討課題とし、当面は現体制継続

問 副市長2人制について、見解は

答 検討課題とし、当面は現体制継続

問 副市長2人制について、見解は

答 検討課題とし、当面は現体制継続

問 副市長2人制について、見解は

答 検討課題とし、当面は現体制継続



菅原 福治 議員



菊池 美穂 議員

問 地下鉄延伸について伺う

答 事業化に向けた検討を進めます

地域総合交通戦略（基本構想）における将来の都市構造の中で、本市の都市拠点、都市主軸を中央より明石台地区、成田地区、大清水地区とし、都市副主軸を泉中央より富ヶ丘、大清水地区、旧市街地から大和町、大衡村へと考えておることから、都市主軸と都市副主軸が重なる大清水地区は、本市の交通網の集約が図られる地域と捉えます。

延伸について伺います。

問 明石台地区以外の市民の期待においても、明石台から大清水までの延伸を早期に計画、検討する必要性を伺います。

答 計画においては明確に、大清水には、将来的な駅用地が確保されているわけですから、基本計画に示された計画は、変更するものではなく、しっかりと実現していききたいと思っております。



渡邊 俊一 議員

問 富谷市の計画を仙台市や大和、大衡の各市町村の理解をどのように求められていけるか、見解を求めます。

答 仙台市と構成する仙台市、富谷市広域行政協議会や黒川圏広域行政協議会において、丁寧に説明しながら、ご理解とご協力を求めてまいります。

問 P F I方式（民間資金活用）による計画を進めるといわれておりますが、後世に、負担をできるだけ残さないようにするため、ユーライタウン基金に積み立て、鉄道延伸に必要な事業費の一部に取り込むことが必要ではないかと考えますが。

答 事業化を見据えた基金などの積立は必要と考えておりますので、総合的に検討します。

問 展望台改修工事見合わせるべき

答 将来的に観光資源として必要では

「大亀山森林公園にある展望台は、建設から30年になろうとしています。

大規模な改修と多額の修繕経費が必要と判明したことから、展望台の撤去および跡地の活用方法等について検討する」との方針が示されてから2年が経過しました。

問 展望台の安全性への懸念はないのですか。

答 これまで解体する方向で説明していましたが、市民から展望台存続の要望が多数あり、都市公園長寿命化計画を策定した上で補助事業を視野に5

年度から対策工事を実施したいと考えています。

問 改修工事および撤去費用の見積り額は。

答 改修工事は約8500万円、解体費は約6500万円です。

問 展望台の塗り替え工事の時期と費用額は。

答 全体塗り替え等の修繕費用は、平成8年度約2500万円、平成17年に1600万円です。

問 30年経過し今後、維持管理費・修繕費用は増えると考えられるなか、8500万円の費用をかけて改修するのですか。

答 改修するのであれば、それくらい金額でしっかり安心な施設にと考えています。



▲ 大亀山森林公園展望台



出川 博一 議員

問 持続可能な財政運営、費用対効果を意識した第2次行政改革が今年度スタート。年間200人程度の利用者しかいないなか、8500万円もかけて改修する必要があるのか。来年度以降やすらぎパーク・複合施設・病院敷地の準備等、大型の事業が予想されます。私は今手をつけるべき事業ではないと考えますが市長の見解を求めます。

答 大亀山と「やすらぎパークとみや」を一体的に富谷の観光資源として、私は大きな可能性を持っていると思います。交付金の活用も含め何とか残し、将来的に観光資源として必要ではないかも含め、慎重に考えて方向性を決めていきます。

問 側溝整備と舗装修繕工事について

答 最大限要望に応えていきたいです

生活基盤の整った利便性の高いまちを目指す本市にとって、計画的に推進することが重要であると考え、質問します。

問 富ヶ丘・鷹乃杜・とちの木3地区の側溝整備事業を、令和3年度と同じ予算規模で整備した場合の事業の終了見込み年数は。

答 富ヶ丘地区は約8年、鷹乃杜地区は約16年、とちの木地区は約2年です。
問 富ヶ丘地区市道舗装修繕工事の整備状況は。



答 舗装修繕計画、延長約12・6kmに対し、2・3km整備が完了し進捗率は約18%です。

問 公適債が継続されなかった場合、3地区の側溝整備事業と富ヶ丘地区市道舗装修繕事業の財源確保についての考えは。

答 新たな、緊急自然災害防止対策事業債の活用を検討しています。

問 側溝整備事業と舗装修繕を一体化または分離

問 放課後児童クラブについて

答 子ども教室との連携も検討します

問 支援を要するお子さんが増加している現状で、国の要支援加配制度を活用する考えは。

答 障害児受入推進事業を活用します。



長谷川美 議員

して進める場合のそれぞれのメリットは。

答 一本化した場合は、沿線住民の生活環境と道路景観の向上が図られ、分離した場合は、限られている財源を有効に活用できるメリットがあります。

問 市民の方への周知とより理解を得るために、説明会の開催の考えは。

答 地元の町内会長と相談し検討します。

問 成田小学校のサテライトのさらなる働きかけを。

答 今後も、小学校との連絡を密にし、調整を図り事業に取り組みます。

問 市民の健康維持に向けた口腔ケア

答 引き続きしっかりと推進していく

口に関する機能が低下しつつある状態のオーラルフレイルは、口の中のものや飲み込みにくくなる嚥下障害や、言葉が正常にはっきり発音することができなくなる、構音障害につながります。嚥下障害により、うまく飲み込めないことが理由で食事が進まず、栄養不良や脱水状態に陥ったり、食べ物が喉に詰まって窒息するリスクや、誤嚥性肺炎を引き起こすリスクが指摘されています。

また、妊婦さんは妊娠中期から後期にかけて、ホルモン等の関係で歯肉炎になりやすくなることや、歯周病に罹患している場合、早産や低体重児出産のリスクが高くなる



ことが指摘されています。日本臨床歯周病学会の報告によると、歯周病に罹患していない方に比べて、早産や低体重児出産のリスクがおよそ7倍になるとあります。このことから、母体と胎児双方の生命や健康を守るためにも、妊婦さんの口腔ケアは大変重要であると考えます。

問 高齢者の口腔ケアについて本市の取り組みは。

答 口腔衛生やかかりつけ歯科医を持つことの重要性に関して、周知啓発に努めています。また、40歳、50歳、60歳、70歳の節目を迎える



佐藤 浩崇 議員

市民を対象とした、歯と歯肉の検診を実施しています。

問 口腔ケアの取り組みを、介護予防教室などで重点的に進めては。

答 各圏域、地域包括支援センターにおける介護予防教室のほか、ゆとりすとクラブ・サロン、サロンより愛、筋トレ型通所サービズなど様々な機会を捉えて、口腔機能向上や口腔ケアの周知啓発を行っています。

問 安定期に入った妊婦さんへ、歯科検診や口腔ケアを勧奨しては。

答 母子手帳交付の際にリーフレットなどを用いて説明し、歯周病予防の歯磨きについて、また、安定期に入ったら歯科検診を受けることを推奨しています。

問 福祉関連重点施策について問う

答 地域福祉の理解促進に努めます

令和4年度の福祉関連

入については。

施策推進について、農業

多属性の人々が交流、

機能を発揮できる取り組

参加利用できる農園を目

みを強化すべきであり、

農福連携支援事業で障が

い者の雇用の創出、拡充

イーツやお茶など、今後

を求めます。

は。

また、生活面ではヤン

農福連携という視点

グケアラ問題への対応

啓蒙活動を進めます。

やバリアフリー化も含め

は。

た重点施策を問います。

は。

問 農福連携支援事業の

問 歩行者を守る交通対策について

拡充については。

問 必要な対策を講じていきます

答 みやぎ農福連携推進

全国的にも歩行者が巻

ネットワークと連携し、

き添えになる交通事故が

誘致も含めて調査研究を

多発している状況のため、

進めていきます。

対策を問います。

問 ユニバーサル農園導

問 大清水の

入については。

問 点字ブロックの計画

多属性の人々が交流、

視覚に障がいを持た

参加利用できる農園を目

れている方の通行ルール

を強化すべきであり、

など、確認させていた

農福連携支援事業で障が

き必要な対策を講じてい

い者の雇用の創出、拡充

きます。

また、生活面ではヤン

は。

グケアラ問題への対応

は。

やバリアフリー化も含め

は。

た重点施策を問います。

は。



浅野 直子 議員

問 市内各団地の道路整備等を問う

答 舗装状況を見極めて実施を検討

平成29年3月に、市が

陽台、鷹乃杜、富ヶ丘、

保有・管理する公共施設

30年以上経過している

の調査と分析、中長期的

ちの木、あけの平、ひよ

なメンテナンスサイクル

り台、日吉台を始め全て

の構築、トータルコスト

の団地の区画道路の舗装

の縮減と予算の平準化等

状況を確認しました。中

により住民の福祉を増進

でも、富ヶ丘地区の道路

することを目的とし、令

は、全体的に酷く損傷し

和8年度までの10年間に

ていました。補修等のス

わたる富谷市公共施設等

ピードを上げ、各年度の

総合管理計画を策定して

補修距離を増やさなけれ

います。そこで団地内の

ば、あと15年もたたずに

道路整備について伺いま

市内の14団地のうち、10

す。造成完了から40年以

の団地が現在の富ヶ丘と

上経過している太子堂の

同じ状況になると思いま

富谷ニュータウン、東向

す。補修の加速が必要で

す。

問 団地内道路舗装等の

補修状況は。

問 区画道路補修は計画

問 一回目の補修終了は

道路修繕に補助がないた

東向陽台一・二丁目、鷹

めです。市の単独予算で

乃杜で、富ヶ丘は取組中

の修繕補修は非常に難し

です。明石台は幹線道路

いため、水道やガス管の

工事を実施中です。

更新等と調整して、今後、

問 中長期にわたる補修

舗装の進捗を図ります。

経費算定は。

問 効率が悪い理由は、

問 区画道路補修は計画

にスピードアップが必

要です。その取り組みは、

問 ひび割れ率が全体の

40%を超えた舗装は、全

面的な修繕が必要です。

また、轍の掘れは、20mm

から40mmが基準です。



村上 治 議員



▲ 富ヶ丘団地内道路

問 シルバー人材センターへの支援は

答 連携のための予算は確保します

富谷市シルバー人材センターは、会員数、契約金額共に県内有数の活動を展開し、平成29年10月から富谷茶復活プロジェクトに取り組んでいます。

問 シルバー人材センターが生産の担い手となる検討は。

答 生産の担い手は農家を想定しています。

問 複合施設整備の早期竣工を

答 早期の施設供用に努力します

問 シルバー人材センター活動推進事業補助金の増額の検討は。

答 技術習得など連携のための予算は確保します。

富谷市民図書館等調査特別委員会では、図書館単独整備から図書館、スイツステーション、屋内児童遊戯施設の複合施設整備に関し報告書をまとめ、4つの要望事項が取りまとめられました。

問 施設整備に関し、住民ニーズの反映は。

答 住民ニーズを反映した基本方針を策定しました。今後も、整備過程に



問 シルバーへの委託費は適正な労務に見合う報酬ですか。

答 適正な報酬です。

問 シルバーが肥培管理し農家を指導しています。農家自身がノウハウを蓄積すべきでは。

答 当初予定したが、コロナ禍で電話・メールで指導をいただいています。



若生 英俊 議員

問 県内にお茶栽培の指導者がおらず、シルバーの指導が必要です。

問 直接農家を指導する体制の検討は。

答 県内に茶栽培の指導者がおらず、シルバーの指導が必要です。

問 当初予定したが、コロナ禍で電話・メールで指導をいただいています。

問 公園遊具の安全点検を計画的に

答 修繕と点検を継続的に実行

市内90カ所ある公園遊具の、安全点検が必要で

問 障がいがあっても遊べる公園（インクルーシブ プレイグラウンド）が必要では。

答 必要と考え、遊具交換、改築時などに、バリアフリー化と共にインクルーシブ（みんな一緒に）を意識しながら、公園造りをしていきます。

問 遊具の安全点検は計画的に行われていますか、今後の計画は。

答 職員が点検を行い、調査結果を基に修繕計画を作成し、修繕と点検を継続的に行っていきます。

問 タブレット利用の問題点の共有は

答 全職員で共有を図っています

問 壊れている遊具の撤去と修繕の基準は。

答 30年以上経過した遊具を交換、20年以上経過した複合遊具を交換しています。

GIGAスクール構想により児童、生徒に一人一台のタブレット端末が利用できるようになりました。今後も安全な環境下でのタブレットの活用が必要です。

問 小中学校でのタブレット利用の問題点の共有はできていますか。

答 全職員で共有を図っており、タブレット学習について情報交換を常に行っています。

問 視力の低下が問題になっていきます。タブレットの学習を行わない日を設定しては。

答 ノーメディアデー等の設定などについて、養護教諭会などで話題しながら対応していきたいと考えています。

問 チャット等での、いじめ対策は。



▲ あけの平二丁目公園遊具



渡邊 清美 議員

問 今後の経済対策はどうするのか

答 経営継続に必要な支援をします

最近、コロナウイルス感染者も少なくなり、コロナ禍で、しかれた規制が条件つきではありませんが、順次撤廃され、本格的な社会経済活動再開を目指す時期であると思っています。しかし、日本よりワクチン接種率が高い韓国や接種が先行して行われてきた欧米などでは、行動規制緩和後に新規感染者が急増したり、変異ウイルスが流行するなど、まだまだ予断を許さない日々が続いています。

す。コロナ禍の影響が長引いているため、小規模会社や個人事業主は経済難に陥っているところもあり、一般家庭においても生活困窮者が多くなっていると思います。

問 今後、富谷市独自の給付・補助金など、新たな経済対策は。

答 今後も引き続き、経営継続していくため、必要な支援を実施していきます。

問 ワクチン接種をしたくない、不安に思っている市民の方々の理由は、

輸入品であるか聞いています。日本製のワクチンや治療薬が出るのか、予定、情報はないのですか。
答 日本製のワクチン、治療薬等も今後製品化されるというふうな話も聞いています。



高橋 正俊 議員

問 国では10万円の給付や「GO TO トラベル」再開などで、コロナ対策の財源となる地方創生臨時交付金などに影響はないのですか。

答 国において6兆8000億円の増額補正が盛り込まれたので、今後も早期の情報収集に努め、必要な施策を検討します。

問 小規模な法人や個人事業主、また一般家庭などに金融機関と連携した新たな利子補給型融資はできないのですか。

答 現在、中小企業振興資金・操業支援資金・小規模事業者経営改善支援を実施し、一般家庭には宮城県社会福祉協議会に無利子貸付があります。

問 金管バンドの支援策強化は

答 より良い体制構築に努めます

問 学校ごとの指導体制に差があります。先生や複数校への研修・サポート体制は。

答 マーチングを指導できる教員を確保することが難しく、学校のマーチングのあり方を検討していきたいと考えています。仙台大学と連携、外部講師の活用など考慮します。

問 金管バンドは専門的ですが、外部講師の配置に予算づけが必要では。

答 直接の予算づけはありませんが、研修・講習

会に補助を出しています。

問 マーチングフェスティバルが中止となり、発表の場を作れないか。

答 コロナウイルスの終息が見通せないため、代替イベントは困難であると判断しました。



藤原 峻 議員

問 公共空間の利活用策は

答 公民連携が必要と考えています

問 公共空間で市民のアイデアを活用した賑わいづくりの考えは。

答 アイデアを生かし、公共空間での多様な活動の場の創出のため、総合的サポート体制整備に努めます。

問 ワンストップ相談窓口としての機能は。

答 市民協働課として、情報を集約し、関係課と橋渡しの役目を充実していきたいと思っています。
問 公共空間活用の相談、申請等のわかりやすさは。

答 整備については相当な経費負担となるため、市全体の情報制作と併せ総務省の交付金事業活用などを視野に今後検討していきます。

答 わかりやすく示す必要があると捉えています。
問 最先端の公民連携の研修が必要では。

答 検討していきたいと思っています。
問 TOMI+や公民館等WiFi環境の改善策は。

答 整備については相当な経費負担となるため、市全体の情報制作と併せ総務省の交付金事業活用などを視野に今後検討していきます。



問 環状線型やモノレールでの検討は

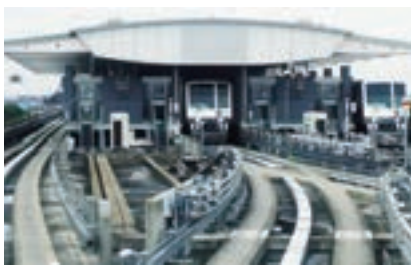
答 莫大な事業費でモノレールも難しい

地下鉄延伸等について質問します。

問 明石台への一方ではなく、泉中央から明石台、それから、東京エレクトロン等の工業地域、

宮城大学、宮城県図書館、泉パークタウン、そして泉中央への環状線型やモノレールでの検討は。

答 莫大な事業費や運行経費等が必要になるものと推測されます。モノレールも難しいと考えます。
問 ファイダー交通の体制整備が基幹公共交通整備の要です。整備検討は。



▲新交通システム「日暮里・舎人ライナー」

答 市民バスの再編等を

進めることとしています。

問 成田公民館の増床改築は

答 今後の設計段階等で検討する

成田公民館に併設される図書館等の複合施設整備について質問します。

問 市民団体等の活動拠点を置くよう、成田公民館の増床改築は。

答 複合施設および成田公民館相互の効率的な空

間レイアウトは、今後の設計段階等で検討します。

問 成田地下道の防犯カメラの映像が施設内で常時監視でき、通話ができるようにすべきでは。

答 防犯対策は重要で関係機関と検討を進めます。

問 演奏会開催中等の地震避難訓練は

答 シェイクアウト訓練等を推進する

防災防犯において施策の推進を求めます。

問 地震における演奏会開催中等の避難訓練は。

答 シェイクアウト訓練

やイベント開催時での非常口の説明および誘導員

の配置等を推進します。

問 教育や子育て支援施設の不審者対策は。

答 マニュアルを整備し、

また、訓練を行います。安全確保に備えています。



安住 稔幸 議員

陳情書

- 「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書
宮城県医療労働組合連合会 執行委員長 中山 修
 - ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い
特定非営利活動法人 日本ウイグル協会 会長 于田ケリム
 - ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い
ウイグルを応援する全国地方議員の会 会長 丸山 治章
- 全て議員配付となりました。

請願と陳情の提出方法

市民のみなさんは、市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書

請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。

●陳情書

陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配布されます。

請願書・陳情書について、詳しくは富谷市議会HPをご覧ください。

**令和3年度
黒川地方市町村議会
議員研修会**

12月22日、成田公民館で議員研修会を開催しました。

今回は、東日本大震災から10年目という節目の年であることから、「東日本大震災からの教訓」と題して南三陸町の佐藤仁町長から講演していただきました。防災訓練や災害時相互応援体制構築の重要性、災害対策本部の意思決定に女性目線も大切など、貴重なお話を聞くことができました。



よりよいまちづくりのために

調査 しました

(9月～11月実施)

各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

行政改革および公共施設
財政状況について
バランスの取れた
行財政改革運営を求める
調査先：行政改革推進室
財政課

総務常任委員会



◎調査日 10月28日

行政改革では、職場研修および派遣研修を実施し、年度終了後に進捗状況を分析し、次年度に反映させ実施プランを実行している事を確認しました。引き続き、行革の取り組みを求めます。
公共施設の維持、管理、更新では、費用対効果を

見据え市民に十分説明を果たし、あらゆる可能性の検討が重要と考えます。今後、図書館等複合施設、ごみ処理関連施設、消防施設等の各種施設の整備、病院誘致など多額の歳出が想定されます。また、インフラの改修、更新も同様であり、効率の良い

行財政運営を求めます。中長期的な視点や世代間の公平性などから、一定規模の起債の検討は必要です。財政改革の推進で市民サービスの過度な縮小に注意すべきです。効率の良いバランスの取れた行財政改革、運営に努める事を求めます。

教育民生常任委員会

放課後児童クラブについて
待機児童の解消と
支援員等の意見の反映を

調査先：子育て支援課

◎調査日 10月13日

共働き家庭の増加に伴い、子育て世帯の多い本市では放課後児童クラブのニーズが年々増大しています。令和2年度には複数の児童クラブで待機児童が発生しました。

令和3年度の申請者は、

新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少したものの、2年連続で待機児



童が発生しました。今後は、明石台東地区の開発が進み、東向陽台小学校の児童数の増加が見込まれます。待機児童の解消に向け、一日も早い児童クラブ増設等の取り組みが望まれます。

放課後児童クラブは、コロナ禍の学校一斉休校により、児童の居場所と

して、その重要性が再認識されました。一方、現場の人手不足に加え、感染防止対策などで支援員への負担が増加しています。さらなる児童の健全育成に向けて、支援員や児童、保護者の意見、要望を生かした運営と、支援員の負担軽減対策の強化を求めます。

産業建設常任委員会

◎調査日 10月19日

ブルーベリー、富谷茶など特産品の取組みについて調査しました。

ブルーベリーについては、38年の長い間、市の特産品として栽培面積拡大に取組んで来ましたが、今後は栽培面積と収穫量の要因分析と、販路についても、全国展開を目標にチャレンジすること。

また、富谷茶は、事業の方向性を明確にし、栽培者の獲得を計画的に進めることが重要です。

新特産果樹定着推進事業については、新果樹需要の将来方向と生産規模の拡大、栽培技術の向上、産地育成に向けた支援が必要であり、規模の拡大には、シルバー人材セン

ターによる会員就業創出事業の協力を得て、遊休農用地等の利用を進める必要があります。

これまでの特産品は、話題先行でしたが、これからは、「収益性が見込める、所得向上に繋がる」事業展開が望まれます。

ブルーベリーなどの
特産品の取組みについて
話題先行から
収益性向上へ

調査先：農林振興課



議員全員協議会を開催しました

令和3年10月22日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
① 議案第1号 令和3年度富谷市一般会計補正予算(第8号)
(2) 黒川地方市町村議会議員研修会について

令和3年11月22日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
① 富谷市立学校県費負担教職員のサービスの宣誓に関する条例の制定について
② 令和3年度富谷市一般会計補正予算(第9号)
③ 令和3年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
④ 令和3年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)

- ⑤ 指定管理者の指定について
⑥ 黒川地域行政事務組合の財産処分について
(2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
① 市道穀田三ノ関線道路改良事業の進捗状況について
② 市道三ノ関大崎線道路改良事業の進捗状況について
(3) その他

令和3年12月7日

- (1) 追加提出予定議案等に関する案件
① 令和3年度富谷市一般会計補正予算(第11号)
(2) その他

議会活性化 調査特別委員会

市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託に応えられる議会を目指し、調査します。

10月29日

【議会活性化調査特別委員会】

- ・ 議会報告会について
- ・ その他

11月30日

【議会活性化調査特別委員会】

- ・ 議会報告会について
- ・ その他

12月7日

【議会活性化調査小委員会】

- ・ 議会報告会について
- ・ 常任委員会所管事務調査報告書について
- ・ 今後の調査の進め方について
- ・ その他

12月10日

【議会活性化調査特別委員会】

- ・ 小委員会における協議結果について
- ・ その他

開かれた議会を目指し 議会報告会を開催します

日時：令和4年3月26日(土)
午後2時開会
(およそ2時間を予定)

会場：東向陽台公民館



- ◆ 皆様のご参加をお待ちしています。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、延期または中止する場合があります。

次回の定例会は 2月下旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。

TEL 022-358-0622

富谷市議会録画配信URL

<http://www.tomiya-city.stream.jfit.co.jp/>

富谷市議会インターネット

検索

掲載記事の 訂正とお詫び

とみや議会だより第21号の掲載記事で誤りがありました。訂正してお詫びいたします。
22ページ下段 教育長に及川芳彦さん再任
任期 (誤) 令和7年10月14日 (正) 令和6年10月14日



未来へはばたけ とみやっ子 家庭的保育室 ハック



私達の街は、親元を離れて子育てをする人が多い街です。そんな人達が、安心して子育てと仕事を両立できるように応援したいと思い、認可を受け、愛犬の名前をつけて保育室を開いて10年になりました。

自宅1階で、生後6ヶ月から2歳児までの5人をお預かりし、補助者2人と協力して保育をしています。



す。手厚い保育であったか手作り給食が目標です。一日の流れは公立保育所と同じで、遊び・給食・午睡のリズムを大切に、特に給食は、その日の体調に配慮して提供しています。誕生会や季節の行事もお楽しみ。また、散歩の時は、ご近所の皆さんが声をかけて下さるのでプチ交流も日課です。

ある時、ママが笑いながら、「うちのパパ、先生のことを富合のおっかあと呼ぶんですよ。」と話して下さいました。その言葉に励まされて、今日も笑顔満開です。

<表紙紹介>

雪化粧の 鷹乃杜二丁目公園

いつもは緑豊かな公園が雪化粧。降り積もった雪がまるで白粉（おしろい）のよう。市指定天然記念物「亀杉」は鷹乃杜のシンボルです。

地域つながりを 子どもたちに想像力を

菊池里紗さん(明石台)

「個の時代一されど、個が活きるのは、その他の個を想像できてこそそのもの」。そんな思いを持ち、私が富谷塾の門を叩いたのが2021年夏の事。互いに繋がりを築き、相手を想像し思いやる。そんな温かい地域を創りたい。そういう景色を子ども達の目に映したい。そんな想いから「未来への種まきプロジェクト」と名付けた、私の“畑仕事”が始まった。



雪の深い日に、誰かが通学路に作ってくれた一本道。地域にたくさんの繋がりが溢れ、たくさんの大人が子どもに関わる風景。さりげない日常の中に、ほっと温かい景色を創りたい。子ども達に、そんな想いを感じ取れる感性を、地域で育てていけたら。

まずはこの冬、家の前に一本道を、通学路に一本道を。私も、地域の子ども達の目に映る景色の中に、雪の中の一本道のような温かさや繋がりを描きたい。そこに想像力という未来への種を蒔いていきたいと思う。

個を活かし、孤を生まない。未来に、次世代に何を伝えるか。想像力・彩り豊かな地域創りのために、私の“畑仕事”は続いてゆく。

編集後記

令和3年第4回定例会が終わり、新しい年を迎えました。現在、全国的には新型コロナウイルスの第6波と、新しいオミクロン株感染の急拡大が進み、更に収束が見えなくなっているのが現状です。市民の皆様もこれま

で以上に、適切な感染予防に留意をお願いします。市議会では、3月26日に、2年ぶりに感染予防を十分に行い、対面による議会報告会を予定しています。詳細は、ホームページやチラシでお知らせしますので、多くの方の参加をお待ちしております。

広報委員 村上 治